



学校教育目標

- ・自ら進んで学びとる子ども (知)
- ・礼儀正しく思いやりのある子ども (徳)
- ・心と体を鍛える子ども (体)

1 年の締め括りに感謝と、新しい年への飛躍を

校長 中川 勝美

今年も早いもので残すところあとわずかとなりました。保護者の皆様には、この 2 学期間、本校の教育に對しましてご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。また、子供たちが無事に登校できたのも保護者の皆様方の見守りのおかげと、全教職員、感謝をしているところです。

いよいよ 15 日から、子供たちが楽しみにしている「冬休み」が始まります。生活リズムを崩すことなく、与えられた課題に加えてこれまで苦手だった学習内容を復習するなど、自ら目標を立てて、計画的に学習に取り組んでほしいと思います。また、中学部 3 年生は、いよいよ受験を迎えます。希望の高等学校合格を目指してラストスパートの時期です。自分の夢の実現に向けて、充実した冬休みを過ごしてほしいと願っています。

さて、今年度の中南米校長研究協議会が開催されたサンホセ日本人学校で素晴らしいと感心したことを全日帰りの会で紹介しました。写真を映しただけですが、子供たちはすぐに気がついてくれました。それは、「ボールががきちんと揃えられている」、「靴が揃えられている」等々。整理整頓の美しさを写真から感じてくれたようでした。

「脚下照顧(きゃっかしょうこ)」は、お寺の本堂の上り口やお手洗いなどで時折目にする熟語です。単に「足下に注意しましょう」とか「履き物を揃えましょう」というだけではありません。真意は深く「脚下」とは「自分自身」を指し、「照顧」とは「省みてよく見る」という言葉です。自分の足元を顧みるとは、「自分自身や自分の心」と向き合って、よく見極めて事に当たれという教えです。履き物が揃えられるということは、そのときの児童生徒の心の在り方が美しく整えられているということを示しているともいえるでしょう。

1 2 月の生活目標は、「廊下は静かに右側を歩きましょう」です。また、学校では 2 学期のまとめの時期に、もう一度今の挨拶や返事の仕方を振り返り、「一人の時でも爽やかな挨拶や返事をしよう」を重点項目として取り組んでいます。

まわりに気持ちを奪われず自分を見つめ、自分の地歩を固め、「当たり前のことを当たり前に行う」ことは、子供たちに身に付けさせたい資質です。

来年は亥年です。イノシシのように勢いのある年にしたいものです。全校児童生徒、ご家族の方々や日本国総領事館、日本文化振興会及び企業の方々、そして日系社会やブラジルの関係者の皆様にとって、希望に満ちた、充実した一年となりますようお祈りいたしますとともに、事故やけががなく冬休みを過ごしていただきますようお願いいたします。また、新しい年におきましても、学校へのご理解とご支援をさらに賜りますことを、よろしくお願い申し上げます。

感動と達成感溢れた長距離走大会

1 2 月 1 日(土)、カントリークラブにおいて、長距離走大会を行いました。途中で諦めそうになりながらも友達の応援する「頑張れ! 負けないで! ゴールはあと少し!」という声に勇気をもらって最後まで走りきった子供たち。そして、自分の立てた目標を超えようと気持ちのこもった走りでもゴールを駆け抜けた子供たち。

ゴールした後、感極まって涙する子供の姿や達成感に喜びを体で表している子供の姿に感動しました。35 名の児童生徒が自己新記録を出しました。これまでアララや業間等の時間を使い、一生懸命に練習した成果が当日の記録や達成感となって現れたことと思います。

〈学年新記録〉

○H.K さん 中 3 2000m (10 分 57 秒)

※当日公欠のため、現地練習の記録を本記録として認定しました。

寄贈して頂きありがとうございます。

・K.S 様から絵本を頂きました。

1 月行事予定

マナウス日本人学校の思い出を大切に

新しい学校で新たな飛躍を!

2 学期をもって N.K さん、R.K さん、H.K が帰国となります。日本でもマナウスの太陽のような輝きと熱気で有意義な学校生活を送ってください。また、Y.M さん、D.E さんが、念願だった日本での研修に出發します。憧れの日本で自分の五感を通して学んできてほしいと思います。